

## (2) 夢科学探検 2017

2017年10月28日(土)に、黒髪南キャンパスにおいて「夢科学探検 2017」を開催した。夢科学探検は、1993年度に第1回が実施され、2007年度からは「工学部探検」、「もの・クリ Challenge」、および「化学への招待」と合同で開催されている。夢科学探検 2017 は、昨年度と同様に、熊本大学が主催し、(財)化学及血清療法研究所(化血研)および日本化学会九州支部化学教育協議会の共催、ならびに、熊本県および熊本市の教育委員会、および県内のマスコミ各社の後援により開催した。本年度は開催担当が工学部であり、全体計画、パンフレット等作成、化血研への協力依頼などを担当した。個々のイベントの開催までの準備と当日の展示・実験には、理学部および工学部の全学科、自然科学研究科、技術職員、および多くの学生の協力を得た。夢科学探検の開催に先立って、小学校・中学校・高等学校および教育事務所等へポスターとチラシを配布し、熊本大学ホームページへの開催告知掲載、および報道各社(新聞社1社とテレビ局5社)への協力要請等を行った。特に、小学校・中学校・高等学校あてには、当該校の児童・生徒分のチラシを送付した。本年度は工学部120周年式典・行事が11月の紫熊祭の期間に行なわれるため、10月の終わりの開催となり、例年とは異なる問題も生じた。紫熊祭の期間は実行委員の学生による交通整理がなされており、来客の駐車場への誘導などは任せることができたが、今回は夢科学探検を単独で開催するため、交通整理が容易な誘導方式と外部からの誘導員の配置を考えた。また昨年の震災の被害で建て替えとなった1号館の工事に伴うプレハブの建設と1号館自体の解体工事、大型工事車両通路の確保のために来場者駐車場の確保やが非常に難しくなった。教職員は北キャンパスに駐車するなど苦肉の策をとらざるを得なかった。逆に120周年行事のために設けられたバナーポールや幕などが一般市民への良いPRとなった。当日は、工事で会場に向かう進路が分かりにくくなっていましたが、工学部2号館や理学部1・2号館に総合受付および案内所を設け、南地区内の各所に案内板や地図を掲示して来場者の便宜を図ったため、雨が降ったにもかかわらず来場者は2000名を超え、各会場は小中高校生および一般の方で大盛況であった。例年の同様にスライムづくりやモデルロケットコンテスト、ロボット体験、ラジコンなど様々なものづくりや操作体験、また科学・工学のわかり易く面白い実験・展示が実施され、科学への興味を喚起する会としての役割を果たすことができた。工事に使用されている複数台の大型工事車両も来客の目を引き、アトラクションとしての一役をかっていた。終了後15:30より協力した学生や教員を集め、工学部2号館で優秀な展示テーマを表彰した。工学部表彰分は11組になっており、そのうち2組が化血研大賞、残りが化血研賞となる。表彰学生には工学部長より化血研より表彰状と副賞が授与された。夢科学探検 2017の概要とアンケート結果は下記のとおりである。

### 「夢科学探検 2017 ～理学部探検、工学部探検、もの・クリ Challenge～」

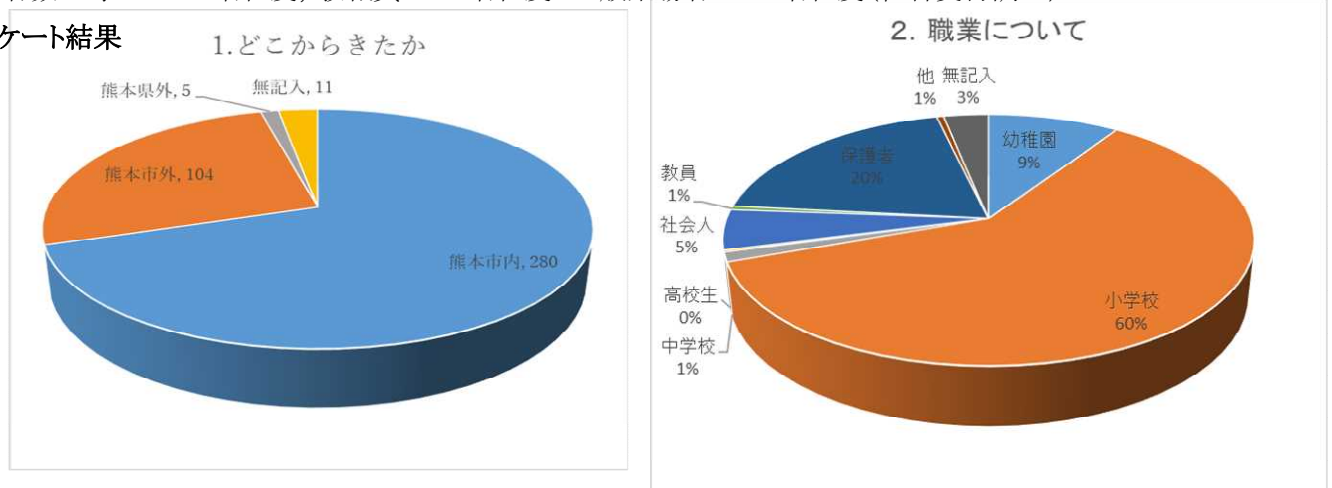
日 時：平成29年10月28日(土)10:00-15:00

会 場：熊本大学黒髪南地区キャンパス(理学部、工学部、自然科学研究科)

展示件数(工学部)：テーマ数 55

参加者数：学生 700名程度、教職員 100名程度、一般来場者 1500名程度(総合受付調べ)

#### アンケート結果



## アンケート「おもしろかったテーマ」TOP10

順位	テーマ番号	テーマ名	投票数
1	H-01	バルーンロケットを飛ばそう！	56
2	A-04	光ってわくわく♪不思議な芳香剤	51
3	A-05	作ろう！君だけのスーパーボール	42
4	A-12	不思議なシャボン玉	40
5	J-07	スライムを作って遊ぼう!!	39
6	A-06	化石のレプリカを作ってみよう！	34
7	J-09	ブーブー風船で大合唱	29
8	G-01	モデルロケットを打ち上げよう	27
9	I-08	プラズマって何だろう？	26
10	D-01	衝撃波の力で3D コピー	25